

3月6日(金)

第1会場(2F レセプションホール)

9:05 ~ 10:35

シンポジウム4

座長：吉田 朗彦(国立がん研究センター中央病院 病理診断科)

内藤 陽一(国立がん研究センター東病院 総合内科)

肉腫の病理診断、ゲノム異常と薬物療法

SY4-1 胞巣状軟部肉腫の病理と遺伝子異常

静岡県立静岡がんセンター 病理診断科 加藤 生真

SY4-2 胞巣状軟部肉腫の臨床像と最新治療

国立がん研究センター中央病院 腫瘍内科 下井 辰徳

SY4-3 PEComa の病理と遺伝子異常

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 病理学(腫瘍病理) 山元 英崇

SY4-4 PEComa の臨床像 -JMOG study からわかったこと

福井大学 整形外科/公立丹南病院 整形外科 出淵 雄哉

10:45 ~ 12:15

シンポジウム5

座長：尾崎 敏文(岡山大学学術研究院医歯薬学域 整形外科学)

木下 義晶(新潟大学大学院 小児外科)

肉腫のバイオマーカー探索研究を本気で考える

SY5-1 骨軟部肉腫における遺伝子変異・遺伝子発現プロファイルを用いた治療戦略開発の可能性

国立がん研究センター東病院 骨軟部腫瘍科 中谷 文彦

SY5-2 ユーイング肉腫ならびに類縁疾患における診断・治療層別化・治療反応性評価を目的としたバイオマーカー探索と追跡の重要性：臨床実装と患者還元に向けて

国立がん研究センター中央病院 遺伝子診療部門/

国立がん研究センター中央病院 小児腫瘍科/

国立がん研究センター中央病院 がんゲノム情報管理センター(C-CAT) 情報統合室 田尾佳代子

SY5-3

横紋筋肉腫におけるバイオマーカー開発の現状と課題

京都府立医科大学大学院医学研究科 小児科学 宮地 充

SY5-4

ゲノム解析による肉腫のバイオマーカー探索の可能性

東京大学大学院 新領域創成科学研究科 松田 浩一

SY5-5

超高感度リン酸化シグナル解析を用いた胃がんプロテオゲノム研究

国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 創薬デザイン研究センター 足立 淳

12:30 ~ 13:30

ランチョンセミナー 4

共催：サーブ・バイオフーマ株式会社

座長：川井 章 (国立がん研究センター中央病院 骨軟部腫瘍・リハビリテーション科)

サルコーマ治療の現在地と未来地図～ウイルス療法の可能性を探る～

LS4-1

難治性悪性骨腫瘍に対する局所療法の進歩

国立がん研究センター中央病院 骨軟部腫瘍・リハビリテーション科 岩田慎太郎

LS4-2

腫瘍溶解性ウイルス療法の現状と展望

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 遺伝子治療・再生医学分野／
同 附属南九州先端医療開発センター／
同 革新的治療開発研究センター／
鹿児島大学病院 探索的医療開発センター／
サーブ・バイオフーマ株式会社

小賤健一郎

LS4-3

Surv.m-CRA-1 を用いた悪性骨・軟部腫瘍に対する医師主導治験

鹿児島大学 医学部保健学科臨床理学療法学／鹿児島大学病院 探索的医療開発センター 永野 聡

13:40 ~ 14:10

JSTAR 評議員総会

14:15 ~ 16:00

シンポジウム 6

座長：高橋 雅信 (山形大学大学院医学系研究科 内科学第二講座臨床腫瘍学分野)

石原 幹也 (大阪国際がんセンター)

肉腫に対する薬物療法の未来

SY6-1

軟部肉腫に対する周術期化学療法の未来

国立がん研究センター中央病院 骨軟部腫瘍・リハビリテーション科 岩田慎太郎

SY6-2 薬物療法の開発における患者由来がんモデルの役割：半世紀にわたる開発の歴史を振り返って

国立がん研究センター研究所 希少がん研究分野 近藤 格

SY6-3 薬物療法開発への取り組み

国立がん研究センター中央病院 米盛 勸

SY6-4 骨軟部肉腫に対するウイルスを用いた遺伝子治療の開発

鹿児島大学医学部保健学科 臨床理学療法学／鹿児島大学病院 探索的医療開発センター 永野 聡

SY6-5 骨軟部肉腫に対する遺伝子改変 T 細胞療法の開発と臨床応用

信州大学 学術研究・産学官連携推進機構 柳生 茂希

SY6-6 ARTEMIS-002: A Phase 2 Study of HS-20093 in Patients with Relapsed or Refractory Sarcomas

Musculoskeletal Tumor Center, Peking University People's Hospital, Beijing, China Lu Xie

16:00 ~ 16:15

閉会式

第 2 会場 (3F 国際会議室)

8:00 ~ 9:00

モーニングセミナー

共催：Belpharma s.a.

座長：岩田慎太郎 (国立がん研究センター中央病院 骨軟部腫瘍・リハビリテーション科)

MS

Isolated limb perfusion: introducing an established treatment option for Extremity Soft Tissue Sarcoma (ESTS) to Japan

Netherlands Cancer Institute- Antoni van Leeuwenhoek Winan van Houdt

9:05 ~ 10:35

シンポジウム7

座長：今井 礼子 (QST病院)

出水 祐介 (神戸陽子線センター 放射線治療科)

肉腫に対する放射線治療の現状と未来

SY7-1 骨軟部肉腫に対する重粒子線治療の現状と未来

九州国際重粒子線がん治療センター 松延 亮

SY7-2 肉腫に対する陽子線治療の現状と将来展望：革新的照射法への期待

名古屋市立大学医学部附属西部医療センター 陽子線治療科 岩田 宏満

SY7-3 骨軟部肉腫に対するX線治療の進歩：IMRTと定位照射を中心に

兵庫県立粒子線医療センター附属神戸陽子線センター 放射線治療科 別所 良祐

10:45 ~ 12:15

Patient advocate program

座長：志村 敬彬 (肉腫 (サルコーマ) の会たんぼぼ)

朴木 寛弥 (奈良県立医科大学 整形外科)

話してみよう／患者の困りごと、医療者の困りごと

PAP-1 後腹膜肉腫診療 ～医療者の困りごと～

名古屋大学 消化器・腫瘍外科 希少がんセンター 横山 幸浩

PAP-2 医療者の困りごと～新規治療薬を増やすためにできること～

九州大学病院 血液・腫瘍・心血管内科 土橋 賢司

PAP-3 「もうできる治療はない」と言われたそのあとで

肉腫 (サルコーマ) の会たんぼぼ 吉崎有希絵

PAP-4 患者の困りごと～私の場合～

肉腫 (サルコーマ) の会たんぼぼ 南 敬一

指定論者

肉腫 (サルコーマ) の会たんぼぼ 押田 輝美

12:30 ~ 13:30

ランチョンセミナー 5

共催：中外製薬株式会社

座長：竹中 聡（大阪国際がんセンター 整形外科（骨軟部腫瘍科））

悪性軟部腫瘍における個別化医療

LS5-1 30分で理解する！ NTRK 融合遺伝子陽性腫瘍の基礎と最新知見

東京大学医学部附属病院 整形外科 小林 寛

LS5-2 30分で丸わかり！ 胞巣状軟部肉腫における個別化医療

— 最新の知見と治療戦略アップデート —

九州大学病院 整形外科 遠藤 誠

第3会場（3F 小会議室 31）

9:05 ~ 9:45

一般演題（口演）5

座長：土橋 賢司（九州大学病院 血液・腫瘍・心血管内科）

仲野 兼司（がん研有明病院 総合腫瘍科）

薬物・細胞治療

O5-1 本邦における隆起性皮膚線維肉腫における薬物治療成績

-JSTAR 多機関共同研究中間報告-

新潟県立がんセンター新潟病院 骨軟部腫瘍・整形外科 山岸 哲郎

O5-2 後腹膜肉腫に対する化学療法

名古屋大学医学部附属病院 化学療法部 前田 修

O5-3 切除不能進行期骨肉腫に対する Pazopanib の効果

東北大学 整形外科 吉田新一郎

O5-4 再発・難治小児骨肉腫に対するゲムシタビン・ドセタキセル併用療法の有効性と安全性：単施設後方視的研究

国立がん研究センター中央病院 小児腫瘍科 山西 純

O5-5 閉経前乳癌患者に対する骨転移予防を目的とした骨粗鬆症薬適応拡大の提案

北海道大学医学部 整形外科科学講座／国立病院機構北海道がんセンター 骨軟部腫瘍科 清水 寛和

9:48 ~ 10:36

一般演題（口演）6

座長：細谷 要介（聖路加国際病院 小児科）

砂川 真輝（名古屋大学医学部附属病院 消化器・腫瘍外科）

集学的治療

06-1 小児骨肉腫肺転移症例における気胸発生の意義と生存解析

国立がん研究センター中央病院 小児腫瘍外科／
国立成育医療センター小児がんセンター 腫瘍外科 小野 賀功

06-2 体幹部発生 Ewing 肉腫における脊椎 / 傍脊椎発生例の腫瘍学的転帰の検討

福島県立医科大学 整形外科科学講座 金内 洋一

06-3 成人・高齢者横紋筋肉腫における VAC 療法抵抗例に対する IE 療法と放射線併用の有用性

国立がん研究センター東病院 腫瘍内科 廣田 玲

06-4 直腸 GIST に対する集学的治療～術前治療と低侵襲手術の有用性～

がん研有明病院 大腸外科 向井 俊貴

06-5 緩和的放射線治療により出血コントロールを得た頭部血管肉腫の 4 例

国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科 瀬下 治孝

06-6 当院における婦人科腫瘍骨転移に対する介入実績

杏林大学 整形外科 田島 崇

10:39 ~ 11:19

一般演題（口演）7

座長：今西 淳悟（帝京大学医学部 整形外科科学講座）

河野 正典（大分大学医学部 整形外科科学講座）

良性腫瘍・その他

07-1 日本における腱滑膜巨細胞腫（TGCT）：
全国規模リアルワールドコホート研究

九州大学 整形外科 遠藤 誠

07-2 悪性軟部腫瘍患者では良性軟部腫瘍患者と比較して D-dimer が高値を示す

愛媛大学大学院医学系研究科 整形外科科学 藤渕 剛次

07-3 下肢軟部肉腫術後患者の年齢が術後 1 年間の機能回復に与える影響

国立がん研究センター中央病院 リハビリテーション室 沖田 祐介

07-4 再発・切除不能な骨巨細胞腫に対する denosumab の有効性・安全性

琉球大学大学院医学研究科 整形外科学講座 大城 裕理

07-5 骨巨細胞腫の局所再発リスクにおける術前 TRACP5b 測定の有用性

国立がん研究センター中央病院／佐賀大学 整形外科 戸田 雄

11:22 ~ 12:18

一般演題（口演）8

座長：細野 亜古（国立がん研究センター東病院 小児腫瘍科・腫瘍内科）

荒川 歩（国立がん研究センター中央病院 小児腫瘍科）

小児・AYA 世代腫瘍

08-1 AYA 世代骨軟部肉腫患者の現状と課題

信州大学医学部附属病院 整形外科 樽田 大輝

08-2 小児・若年単純性骨嚢腫患者のスポーツ活動制限と復帰に関する臨床的検討

名古屋大学医学部附属病院 整形外科 小池 宏

08-3 小児、思春期・若年がん患者の妊孕性温存に関する診療ガイドライン第2版発行における骨軟部腫瘍ワーキンググループの取り組み

慶應義塾大学医学部 整形外科 中山ロバート

08-4 線維形成性小円形細胞腫瘍 (DSRCT) に対する集学的治療の中期成績

神奈川県立こども医療センター 外科 北河 徳彦

08-5 初診時病的骨折を有する Ewing 肉腫の臨床的特徴

名古屋市立大学病院 整形外科／Rizzoli Orthopedic Institute 相羽 久輝

08-6 小児・AYA 世代悪性腫瘍患者に対する四肢切断術の実施状況と予後の検討

国立がん研究センター中央病院 小児腫瘍科 内田恵理子

08-7 小児・AYA 世代四肢切断術患者における年齢層別支援ニーズの特徴と多職種支援の実際

国立がん研究センター中央病院 小児腫瘍科 北條 由華

12:30 ~ 13:30

ランチョンセミナー 6

共催：日本ストライカー株式会社

座長：平岡 弘二 (久留米大学)

LS6 メガプロステシスの有用性と長期管理の課題

名古屋大学医学部附属病院 整形外科 生田 国大

14:15 ~ 15:15

スイーツセミナー 2

共催：ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社

座長：松本 嘉寛 (福島県立医科大学 整形外科科学講座)

SS2 原発性・転移性脊椎腫瘍に対する外科的治療戦略 — 根治性と安全性を両立するための手技的工夫 —

大分大学 医学部整形外科 宮崎 正志